

アマチュア無線用リニアアンプ スプリアス特性調査結果(令和2年7月1日現在)

アマチュア無線で使用されている主なリニアアンプのスプリアス特性について、総務省において実施したサンプル調査等の実施結果は以下のとおりです。

製造業者等の名称 (社名変更等の場合あり)	型式等	調査結果
アイコム株式会社	IC-2KL	良好
株式会社ケンウッド	TL-922	良好
	HL-1K	良好
株式会社東京ハイパワー	HL-1KGX	※
	HL-1K/6	※
	HL-1.5KFX	※
	HL-2K	良好
	HL-3KDX	※
日本無線株式会社	JRL-2000F	良好
	JRL-2000F(H)	良好
八重洲無線株式会社	FL-2100B	良好
	FL-7000	良好
ACOM	ACOM1000	良好
	ACOM2000A	良好
ETO	ALPHA77DX	良好
SPE	Expert 2K-FA	良好

- ・ サンプル調査等により良好な特性が確認できたリニアアンプを用いている無線設備については、総務大臣が認めた保証実施者によるスプリアスの確認を受けた場合、測定データの添付を省略して、新スプリアス確認届書を総務省(総合通信局等)に提出いただくことが可能です。
- ・ 調査結果欄の「※」印の機器は、今回実施したサンプル調査等では新スプリアス規格を満たす特性は確認できなかった機器ですが、フィルタの挿入等の対応によりスプリアス特性の向上が図られることで新スプリアス規格に適合する可能性が高い機器です。特性向上対応が図られた場合は、上記と同様の対応が可能となります。詳しくは保証実施者にご相談願います。
- ・ 上記の表にないリニアアンプを用いている無線設備についても、保証実施者によるスプリアスの確認を受けられた場合は上記と同様の対応が可能となります。詳しくは保証実施者にご相談願います。